

第2 農業経営の規模、生産方式、経営管理の方法、農業従事の態様等に関する営農の類型ごとの効率的かつ安定的な農業経営の指標

現に匝瑳市で展開されている経営事例を踏まえ、第1で示した目標の達成を可能とする効率的かつ安定的な農業経営の指標として、本市における主要な営農類型を例示すると以下のとおりである。

組織形態	営農類型
個別経営体	水稲専作 露地野菜専作（ねぎ） 施設野菜専作（大玉トマト） 施設野菜専作（ミニトマト） 施設野菜専作（促成きゅうり＋夏秋トマト） 施設野菜専作（いちご） 植木専作 施設花き専作 葉たばこ専作 酪農専業 肉用牛専業 養豚一貫経営 採卵鶏専業 水稲＋施設野菜（大玉トマト） 水稲＋植木
組織経営体	水稲専作

※1 「個別経営体」

本市農業の特徴として、農業生産の相当部分が家族経営（個人又は法人）によって担われていることがあげられる。そのため、この「個別経営体」についても、労働力構成として世帯主1名とその家族ないしは雇用労働者1～2名程度で営まれることを想定している。

※2 「組織経営体」

「組織経営体」とは、複数の個人又は世帯が、共同で農業を営むか又はこれと併せて農作業を受託する組織であって、農事組合法人、株式会社などのほか、平成17年3月に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」において、はじめて国の施策の対象となる担い手として位置付けられた、経理の一元化などの一定の要件を備えた集落営農についても対象として想定している。

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
水稻専作	水田 25 h a うち自作地 2 h a うち借入地 23 h a 労働力 家族 2名 基幹 1名 補助 1名 雇用 1名	所得 524 万円 労働時間 2,000 時間	[資本装備] トラクター 60ps 1 40ps 1 田植機 8 条 1 コンバイン 6 条 1 畦塗機 1 ドライブハロー 3.4m 1 1.8m 1 乾燥機 5 t 6 トラック 2 t 1 軽トラック 1 フォークリフト 1 [技術内容] 移植栽培 移植期間を 1 ヶ月と る計画的な作付け 低コスト・省力化技 術良質米生産技術	長期間安定貸付 ほ場の団地化 ほ場別栽培記録 複式簿記記帳 販路拡大 フレコン出荷	計画的な休憩 月労働時間 200 時間 (家族経営協定)

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	2,717 万円		2,193 万円		524 万円
1 品目および規模	コシヒカリ 12 h a ふさおとめ 5 h a ふさこがね 8 h a				6 総労働時間 4,075 時間
2 生産量	コシヒカリ 65,520 k g (546 k g/10 a) ふさおとめ 28,250 k g (565 k g/10 a) ふさこがね 45,600 k g (570 k g/10 a)				7 補助者・雇用者の労働時間 補助者 1,500 時間 雇用者 575 時間
3 単 価	コシヒカリ 205 円/k g ふさおとめ 188 円/k g ふさこがね 185 円/k g				8 1 時間あたり雇用労賃 1,000 円
4 所得率	19.3%				9 借入地面積 23 h a
5 単位規模あたり労働時間	16.3 時間/10 a				10 10 a 当たり地代 23,500 円

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
露地野菜 専作 (ねぎ)	畑 1.5 h a 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名 雇用 1名	所得 641 万円 労働時間 2,000 時間	[資本装備] トラクター 動力噴霧器 管理機 掘取機 皮むき機 トラック [技術内容] 周年栽培 セル成型苗利用土作り	一部育苗から定植までの委託 一元有利販売	作付け及び作業の計画化 月給制導入 定期的な休日の取得

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	1,365万円		724万円		641万円
1 品目および規模					6 総労働時間
秋冬ねぎ 1.2 h a					4,995時間
夏ねぎ 0.3 h a					7 補助者・雇用者の労働時間
2 生産量					補助者 2,000時間
秋冬ねぎ 37,140 k g (3,095 k g/10 a)					雇用者 995時間
夏ねぎ 9,111 k g (3,037 k g/10 a)					8 1時間当たり雇用労賃
3 単 価					800円
秋冬ねぎ 273円/k g					
夏ねぎ 376円/k g					
4 所得率					
秋冬ねぎ 41%					
夏ねぎ 66%					
5 単位規模あたり労働時間					
秋冬ねぎ 330時間/10 a					
夏ねぎ 345時間/10 a					

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
施設野菜 専作 (大玉トマト)	鉄骨ハウス 3,000 m ² 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名	所得 560万円 労働時間 2,000時間	[資本装備] 鉄骨ハウス トラクター 灌水装置 暖房機 貨物自動車 [技術内容] 土作り 土壌分析による合理的な施肥管理 優良品種の選定	選果場の利用 育苗管理の委託	作付け及び作業の計画化 月給制の実施 定期的な休日

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	1,599万円		1,039万円		560万円
1 品目および規模	半促成トマト 3,000m ² 抑制トマト 3,000m ²				6 総労働時間 5,682時間
2 生産量	半促成トマト 38,340kg(12,780kg/10a) 抑制トマト 15,600kg(5,200kg/10a)				7 補助者・雇用者の労働時間 補助者 3,682時間
3 単価	半促成トマト 295円/kg 抑制トマト 300円/kg				
4 所得率	半促成トマト 33% 抑制トマト 40%				
5 単位規模あたり労働時間	半促成トマト 1,299時間/10a 抑制トマト 595時間/10a				

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
施設野菜 専作 (ミニトマト)	鉄骨ハウス 3,000 m ² 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名	所得 541万円 労働時間 2,000時間	[資本装備] 鉄骨ハウス トラクター 灌水装置 暖房機 貨物自動車 [技術内容] 土作り 土壌分析による合理的な施肥管理 優良品種の選定 交配作業の効率化 (マルハナバチ)	選果場の利用 育苗管理の委託	作付け及び作業の計画化 月給制の実施 定期的な休日

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	1,353万円		812万円		541万円
1 品目及び規模	ミニトマト 3,000 m ²			6 総労働時間	3,600時間
2 生産量	24,000 kg (8,000 kg/10a)			7 補助者・雇用者の労働時間	補助者 1,600時間
3 単 価	564円/kg				
4 所得率	40%				
5 単位規模あたり労働時間	1,200時間/10a				

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
施設野菜 専作 (促成きゅうり+夏秋トマト)	鉄骨ハウス 3,500 m ² 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名	所得 510万円 労働時間 2,000時間	[資本装備] 鉄骨ハウス トラクター 灌水装置 暖房機 貨物自動車 [技術内容] 土作り 土壌分析による合理的な施肥管理 優良品種の選定	選果場の利用 育苗管理の委託	家族経営協定 作付け及び作業の計画化

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	2,106万円		1,596万円		510万円
1 品目及び規模					6 総労働時間
越冬きゅうり	3,500 m ²				5,670時間
夏秋トマト	3,500 m ²				7 補助者・雇用者の労働時間
2 生産量					補助者 3,670時間
越冬きゅうり	47,355 kg (13,530 kg/10 a)				
夏秋トマト	17,500 kg (5,000 kg/10 a)				
3 単 価					
越冬きゅうり	342円/kg				
夏秋トマト	278円/kg				
4 所得率					
越冬きゅうり	27%				
夏秋トマト	15%				
5 単位規模あたり労働時間					
越冬きゅうり	910時間/10 a				
夏秋トマト	710時間/10 a				

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
施設野菜 専作 (いちご)	パイプハウス 2,500 m ² 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名	所得 560万円 労働時間 2,000時間	[資本装備] パイプハウス 2,500 m ² トラクター トラック 管理機 暖房機 予冷库 [技術内容] ウィルスフリー苗の 利用 優良品種の導入 適正施肥管理	作型分散 多岐の販売検討	作付け及び作業 の計画化 家族経営協定

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	1,125万円		565万円		560万円
1 品目及び規模	いちご 2,500 m ²				6 総労働時間 4,250時間
2 生産量	12,500 kg (5,000 kg/10a)				7 補助者・雇用者の労働時間 補助者 2,250時間
3 単 価	900円/kg				
4 所得率	49.8%				
5 単位規模あたり労働時間	1,700時間/10a				

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
植木専作	畑 2.5ha うち客土畑 0.5ha 労働力 家族 2名 基幹 1名 補助 1名	所得 607万円 労働時間 1,920時間	[資本装備] パイプハウス 灌水用スプリンクラー チェーンソー クレーン付トラック バックホウ 軽トラック 防風ネット ポットングマシーン フォークリフト [技術内容] コンテナ栽培 繁殖技術の向上 商品化率の向上	借入地による規模拡大 ほ場の団地化 ほ場の整備 (灌水道路) 生産出荷・作業 施設の充実 複式簿記記帳 パート導入	月給制導入 定期的な休日の 導入

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	1,650万円		1,043万円		607万円
1 品目及び規模	ツバキ、ツツジ類、コニファー類、クス、クロマツ、マテバシイ、タブノキ、サンゴジュ 他 畑 2.5ha パイプハウス 500㎡				6 総労働時間 3,600時間 7 補助者・雇用者の労働時間 補助者 1,680時間
2 生産量	植木類 7,500本 鉢植木類 2,000本				
3 単価	植木類 1,800円/本 鉢植木類 1,500円/本				
4 所得率	36.8%				
5 単位規模あたり労働時間	植木類 104時間/10a 鉢植木類 2時間/㎡				

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
施設花き 専作	パイプハウス 1,500 m ² 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名 雇用 1名	所得 580万円 労働時間 2,000時間	[資本装備] パイプハウス 自動灌水装置 液肥混入機 自動防除機 土壌混合機 ポッテングマシーン 台車 出荷準備室 パソコン [技術内容] セル成型苗の利用 商品化率の向上 計画生産、出荷マニ ュアルの作成	契約生産、販売 管理日誌の記帳 活用 パソコンによる 作業計画、販 売、経営管理	休日制の導入 給料制の導入

【算定根拠】		農業粗収益	－	農業経営費	=	所得	
		1,350万円		770万円		580万円	
1	品目及び規模					6	総労働時間
	パンジー、ペチュニア、マリーゴールド、デージー、サルビア他						4,500時間
	パイプハウス 1,500 m ²					7	補助者・雇用者の労働時間
2	生産量						補助者 2,000時間
	300,000鉢						雇用者 500時間
3	単価					8	1時間当たり雇用労賃
	45円/ポット						800円
4	所得率						
	43%						
5	単位規模あたり労働時間						
	3時間/m ²						

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
葉たばこ 専作	畑 2.0 h a うち自作地 1.0 h a うち借入地 1.0 h a 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名	所得 614万円 労働時間 2,000時間	[資本装備] トラクター26ps 1 高畦成畦被服機 1 移植機 1 畦間作業車 1 土壌消毒機 1 葉編機 1 電動圧搾機 1 乾燥室 4坪×4室 上屋 180㎡ [技術内容] マルチ栽培 黄斑エンソウイルス防 除の徹底 抵抗性品種の利用	農地の集積 複式簿記記帳 機械設備等に対 する資金助成	定期的な休日

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	1,024万円		410万円		614万円
1 品目及び規模	葉たばこ（黄色種） 2.0 h a				6 総労働時間 3,260時間
2 生産量	5,240kg（262kg/10a）				7 補助者・雇用者の労働時間 補助者 1,260時間
3 単 価	1,956円/kg				
4 所得率	60%				
5 単位規模あたり労働時間	163時間/10a				

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
酪農専業	搾乳牛 30頭 経営面積 50a 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名	所得 575万円 労働時間 1,500時間	[資本装備] 牛舎(つなぎ) 自動給餌期 パイプラインミルクカー バルククーラー トラクター バキュームカー ショベルローダー 堆肥運搬車両 堆肥処理施設 マニユアスプレッダー コーンハーベスター [技術内容] 自給飼料作物の利用 フリーストールミルク キングパーラー方式 TMR方式	複式簿記記帳	家族経営協定 月給制・休日の 取り決め

【算定根拠】		農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
		2,301万円		1,726万円		575万円
1	品目及び規模					6 総労働時間
	搾乳牛 30頭					3,990時間
2	生産量					7 補助者・雇用者の労働時間
	255,720kg					補助者(主) 1,500時間
	(年間搾乳量 8,524kg/頭)					補助者(従) 990時間
3	単価					
	767,160円/頭					
	(9,000円/100kg・頭)					
4	所得率					
	25%					
5	単位規模あたり労働時間					
	133時間/頭					

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
肉用牛 専業	交雑去勢肥育 常時飼育頭数 405頭 労働力 家族 2名 基幹 1名 補助 1名 雇用 4名	所得 557万円 労働時間 2,000時間	[資本装備] 牛舎(18房) 自動給餌機 飼料タンク 家畜運搬車両 堆肥舎 ショベルローダー 堆肥運搬車両 トラクター ロールベアラー [技術内容] 7.5歳もと牛の導入 27.5ヶ月齢出荷 地域副産物の飼料利用によるコスト低減	複式簿記記帳 出荷牛の肉質データの蓄積・分析 パソコンによる経営管理	家族経営協定の締結による月給製・休日の取り決め

【算定根拠】		農業粗収益	－	農業経営費	=	所得	
		12,975万円		12,418万円		557万円	
1	品目及び規模					6	総労働時間
	交雑去勢肥育 常時飼育405頭						11,340時間
2	生産量					7	補助者・雇用者の労働時間
	出荷頭数 232頭/年						補助者 2,000時間
	生体重 760kg/頭						雇用者 1,835時間
	歩留り 63%						
	枝肉重量 480kg						
3	単価						
	559,300円/頭						
	枝肉単価 1,165円/kg						
4	所得率						
	4.3%						
5	単位規模あたり労働時間						
	28時間/頭						

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
養豚一貫経営	繁殖雌豚 100頭 経営面積 50a 労働力 家族 2名 基幹 1名 補助 1名	所得 567万円 労働時間 1,770時間	[資本装備] 母豚舎 離乳豚舎 肥育豚舎 自動給餌機 飼料タンク 家畜運搬車 堆肥舎 ショベルローダー 堆肥運搬車両 [技術内容] 繁殖豚の群管理 無看護分娩 効率的糞尿処理 系統豚の利用	複式簿記記帳 パソコンによる 繁殖・肥育成績 の分析	家族経営協定の 締結による月給 制・休日の取り 決め

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	5,670万円		5,103万円		567万円
1 品目及び規模	母豚 100頭 常時飼育 990頭				6 総労働時間 3,270時間 (100頭規模)
2 生産量	出荷頭数 1,800頭 (一腹産子数9頭 回転率2.0回)				7 補助者・雇用者の労働時間 補助者 1,500時間
3 単価	31,500円/頭 (450円/kg・枝肉 70kg/頭)				
4 所得率	10%				
5 単位規模あたり労働時間	3時間/頭				

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
採卵鶏専業	成鶏 12,000羽 労働力 3名 基幹 1名 補助 2名	所得 599万円 労働時間 1,520時間	[資本装備] 鶏舎 飼料タンク 自動給餌機 自動集卵機 卵運搬車両 堆肥舎 ショベルローダー 堆肥運搬車両 [技術内容] 光線管理 効率的なワクチネーション ステーション別飼料 給与	複式簿記記帳	家族経営協定の 締結による月給 制・休日の取り 決め

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	5,446万円		4,847万円		599万円
1 品目及び規模	採卵鶏 成鶏 12,000羽				6 総労働時間 4,560時間
2 生産量	204,000kg/年 (17.0kg/羽・年)				7 補助者・雇用者の労働時間 補助者 3,040時間
3 単価	卵価 267円/kg				
4 所得率	11%				
5 単位規模あたり労働時間	38時間/100羽				

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
水稻＋施設 野菜 (大玉トマ ト)	水田 15 h a うち自作地 1 h a うち借入地 14 h a 鉄骨ハウス 2,200 m ² 労働力 家族 2名 基幹 1名 補助 1名 雇用 1名	所得 584 万円 水稻 311 万円 大玉トマト 273 万円 労働時間 2,000 時間	[資本装備] トラクター35ps 1 田植機 5条 1 コンバイン3条 1 畦塗機 1 ドライブハロー 2.2m 1 乾燥機 4t 2 軽トラック 1 パイプハウス 500 m ² 鉄骨ハウス 暖房機 動力噴霧器 [技術内容] 移植栽培 収穫期間を1ヶ月と る計画的作付け低コ スト・省力化技術 良質米生産技術 土作り 土壌分析による合理 的施肥管理 優良品種の選定	長期間安定借地 ほ場の団地化 ほ場別栽培記録 複式簿記の記帳 生産出荷・作業 施設の充実 選果場の利用	計画的な作付け と作業体系 月労働時間 200 時間 (家族経営協定)

【算定根拠】		農業粗収益 <u>2,442万円</u>	- 農業経営費 <u>1,858万円</u>	= 所得 <u>584万円</u>
1	品目及び規模			6 総労働時間
	水稻 水田 15 h a			5,302時間
	品種 コシヒカリ、ふさおとめ、ふさこがね			7 補助者・雇用者の労働時間
	トマト 畑 2,200 m ²			補助者 2,000時間
2	生産量			雇用 1,302時間
	水稻 84,000 k g (560 k g / 10 a)			8 1時間当たり雇用労賃
	トマト 28,116 k g (12,780 k g / 10 a)			800円
3	単 価			9 借入地面積
	水稻 192円/k g			14 h a
	トマト 295円/k g			10 10 a 当たり地代
4	所得率			23,500円
	水稻 19.3%			
	トマト 33.0%			
5	単位規模あたり労働時間			
	水稻 16.3時間/10 a			
	トマト 1,299時間/10 a			

個別経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
水稻+植木	水田 5 h a うち自作地 2 h a うち借入地 3 h a 植木 畑 2 h a 労働力 家族 3名 基幹 1名 補助 2名 雇用 1名	所得 591 万円 水稻 103 万円 植木 488 万円 労働時間 2,000 時間	[資本装備] トラクター30ps 1 田植機 5条 1 コンバイン3条 1 畦塗機 1 ドライブハロー 2.0m 1 乾燥機 4t 1 軽トラック 1 クレーン付トラック フォークリフト パイプハウス 1500 m ² [技術内容] 移植栽培 収穫期間を1ヶ月と る計画的な作付け 低コスト・省力化技 術 良質米生産技術 コンテナ栽培 繁殖技術の向上 商品化率の向上	長期間安定借地 ほ場の団地化 ほ場別際場記録 複式簿記記帳 販路拡大 フレコン出荷 生産出荷・作業 施設の充実 パート導入	計画的な休憩 月労働時間 200 時間 (家族経営協定)

【算定根拠】		農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
		<u>1,917万円</u>		<u>1,342万円</u>		<u>575万円</u>
1	品目及び規模					5 単位規模あたり労働時間
	水稻 5 h a					水稻 16.3時間/10 a
	品種 コシヒカリ、ふさおとめ、ふさこがね					植木類 104時間/10 a
	植木 2 h a					鉢植木 2時間/m ²
2	生産量					6 総労働時間
	水稻 28,000kg (560kg/10 a)					5,895時間
	植木類 6,000本					7 補助者・雇用者の労働時間
	鉢植木 2,000本					補助者 2,500時間
3	単価					雇用 1,395時間
	水稻 192円/kg					8 1時間あたり雇用労賃
	植木類 1,800円/本					1,000円
	鉢植木 1,500円/鉢					9 借入面積
4	所得率					3 h a
	水稻 19.3%					10 10 aあたり地代
	植木 36.8%					23,500円

組織経営体

営農類型	規模	目標	生産方式	経営管理の方式	農業従事の態様
水稻専作	水田 60 h a うち自作地 5 h a うち借入地 55 h a 労働力 4名 基幹 2名 補助 2名 雇用 1名	所得 1,260 万円 労働時間 9,780 時間 基幹 2名で 4,000 時間	[資本装備]	長期間安定借地 ほ場の団地化 ほ場別栽培記録 複式簿記記帳 法人化 販路拡大 フレコン出荷	計画的な休憩 各種の保険加入
			トラクター60ps 1		
			40ps 1		
			田植機 6条 2		
			コンバイン6条 2		
			畦塗機 1		
			ドライブハロー		
			2.8m 1		
			3.4m 1		
			乾燥機 5t 7		
			トラック 2t 1		
			軽トラック 1		
			フォークリフト 1		
			播種機 400箱 1		
			育苗機 1000箱		
パイプハウス 1,600 m ²					
作業場・倉庫					
[技術内容]					
移植栽培					
収穫期間を1ヶ月と る計画的な作付け					
低コスト・省力化技 術					

【算定根拠】	農業粗収益	－	農業経営費	=	所得
	6,530万円		5,270万円		1,260万円
1 品目及び規模	コシヒカリ 30 h a				5 単位規模あたり労働時間 16.3時間/10 a
	ふさおとめ 12 h a				6 総労働時間 9,780時間
	ふさこがね 18 h a				7 補助者・雇用者の労働時間 補助者 4,000時間 雇用者 1,780時間
2 生産量	コシヒカリ 163,800 k g (546 k g/10 a)				8 1時間あたり雇用労賃 1,000円
	ふさおとめ 67,800 k g (565 k g/10 a)				9 借入面積 55 h a
	ふさこがね 102,600 k g (570 k g/10 a)				10 10 aあたり地代 23,500円
3 単 価	コシヒカリ 205円/k g				
	ふさおとめ 188円/k g				
	ふさこがね 185円/k g				
4 所得率	19.3%				